

7月9日の6校時・7校時に、2年生の課題研究の「中間発表②」が行われた。どのゼミも、1年生の2月に行われた中間発表①から大きな成長が見られ、東京研修につながる内容となった。

物理ゼミ

質問内容は鋭い視点のものが多く、研究の内容を見直すよい機会となった。発表の態度として、ただ原稿を丸暗記するだけの発表から成長することが今後の課題と考えられる。



化学ゼミ

内容はよりレベルの高いものになっていたものの、生徒からの質問が少なかったため、より積極的に質問できるようにしたい。



生物ゼミ

積極的に発表に臨むことができた。目的が明確ではないという指摘があったので、今後目的の明確化を行っていきたい。どの班も先行研究についてさらに詳しく調べる必要があると感じた。



地学ゼミ

中間発表①よりも質問やアドバイスが増えた。内容に関しても、鋭いものが多かった。全体としては、さらにテーマについて知る必要があると感じられた。



数学ゼミ

数値や文字の妥当性や表記方法についての質問が見られ、今後の研究の参考になるものだった。研究の表面的な内容にとどまらず、さらに掘り下げていくことが必要であると考えられる。



情報ゼミ

研究方法に創意工夫を凝らしているものが多く、今後は具体的な方法について考えていきたい。質問の内容は良かったので、数は増やせるとさらに良くなると思われる。



国語ゼミ

仮説が曖昧なところが多かったため、より明確に示す必要があるように思えた。捉え方が個人で変わる言葉は定義づけする必要があると感じた。



地歴ゼミ

多くの班が研究している歴史を深く掘り下げず、内容が抽象的になってしまった。先生方から、一方的に事柄を調べるだけでなく多面的にみないと全体をとらえることができないという指摘を受けた。



公民ゼミ

必要事項を書き取りながら集中して聞けていて、根拠を持って質問している人も多かった。しかし、発表では表現が曖昧であったり、定義付けが出来ていないなど、反省点も多く見られた。



英語ゼミ

はじめの方は質問があまり出ず、指名された人による質問が続いたが、2つ目の班から様々な人が活発に質問をしていたのでとても良い雰囲気だった。



保体ゼミ

班によって質問数に大きな差が見られたが、前回に比べると活発になっていた。実験方法や統計に課題のある班があるものの、どの班も発表に向けた準備がしっかりと出来ていた。



音楽ゼミ

はじめは質問や指摘が少なかったが、発表が進むうちにだんだんと活発化していった。また、細かなところにまで指摘が多く出ていて良かった。しかし、実験方法については、ほとんどの班が見直すべきところがあった。



家庭ゼミ

前回の中間発表に比べ、質問が活発に出ていて良かった。先生方からは、研究の焦点を絞ること、客観的に見て数値化することなどというアドバイスをいただいた。



災害研究ゼミ

発表に向けて各班とも念入りに準備し、原稿を見ながら話す発表者は前回よりも少なかった。質疑応答も活発で、時間を延長してしまい、質問が最後まで出来ないということが多々あった。



今後の予定

- 9月13日 ポスター発表（ゼミごと）
- 10月25日 ポスター発表（第1回学校公開）
- 12月19日 口頭発表（ゼミごと）
- 3月17日 学術研究発表会

編集後記

今回の中間発表を通じて、反省点や課題が見つかったと思います。9月13日のポスター発表では、今回の発表の反省を踏まえて、より質の高い発表に出来るように頑張っていきたいと思います。